

2018年12月13日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

SCOAP³について

1. 「SCOAP³参加の検討について（依頼）」の送付

JUSTICEの協力を得て8月に、アメリカ物理学会（APS）が発行するジャーナルを2017年に購読しており、かつSCOAP³に未参加の機関（80機関）を対象として、機関の長及び図書館長宛に参加を促す文書を送付した。これにより、下記の通り数機関の参加を得た。

- ・ 2018年からの新規参加：2機関
- ・ 2019年からの新規参加：3機関

2. 2018年の参加状況及び拠出額

(1) 参加状況（2018年11月30日現在）

- ・ 69機関

(2) 拠出期待額及び実際の拠出額

- ・ 日本に対する拠出期待額（年間）：781,000ユーロ
- ・ 実際の拠出額（2018年）：約498,194ユーロ（APSは米ドルをユーロに換算）
（不足額：約282,806ユーロ（約3,806万円））

3. SCOAP³推進のための検討会議（仮）の開催

2019年に向けていくつかの機関から新規参加に係る照会があるものの、拠出期待額に比べて実際の拠出額は、依然として大きく不足することが予想される。

そこで、課題の共有とフェーズ3に向けて打開を図るべく、高エネルギー物理学分野を代表する高エネルギー加速器研究機構等に、大学図書館を代表する国公立大学図書館協力委員会、国立情報学研究所も加わって、検討会議を開催することを検討している。